

酒井家庄内入部400年記念特別展

歴史の扉4 鶴ヶ岡城

2月19日(土)～4月10日(日)

江戸時代に庄内藩の政庁として機能した鶴ヶ岡城。中世以来、庄内を治める中心として、何度も増改築が繰り返された。本丸には藩主が居住し、三の丸およびその周辺には藩士が集住して仕事を行い、城下町を整備して町民の暮らしに寄り添った。「守る」「働く」「暮らす」をキーワードに、鶴ヶ岡城の歴史を掘り起こす。

第3部 民衆のチカラ

7月22日(金)～9月7日(水)

天保11年(1840)、幕府が命じた三方領知替え。酒井家の長岡移封を阻止するため、庄内領民は大規模集会や江戸での直訴を繰り返す。民衆のチカラがうねりとなって、日本全国に影響を与えた阻止運動の様相を、歴史資料や古文書から探る。

第1部 徳川四天王筆頭 酒井忠次

4月14日(土)～5月29日(日)

酒井家興隆の礎を築いた初代・酒井忠次の事績を紹介。忠次は徳川家康の立身出世を支え、のちには徳川四天王筆頭と称された。織田信長や徳川家康から拝領した国宝の太刀2振をはじめ、美術工芸品や古文書、歴史資料から徳川家重臣としての忠次の活躍を辿る。

第4部 藩祖・酒井忠勝

9月10日(土)～10月31日(月)

3代・酒井忠勝は、元和8年(1622)に藩主として初めて庄内に入部した。最上家統治時代の流れを受け継ぎながら、領内の総検地、鶴ヶ岡城の整備や城下の町割り、新田開発を実施し、酒井家400年の基盤を整えた藩祖・忠勝の事績を紹介する。「短刀 銘 吉光」、寺院額字「潮音堂」(共に重要文化財)等を出品。

第2部 中興の祖 酒井忠徳と庄内藩校致道館

6月1日(水)～7月18日(月)

藩主酒井家中興の祖・9代忠徳の生涯を辿る。若くして当主となった忠徳の藩政改革、藩校致道館の創設や教育内容を紹介。また、様々な事績と驚きのエピソードや、和歌・俳諧資料や交友から、文化人としての側面にも着目する。

第5部 酒井家の明治維新

11月3日(土)～12月25日(日)

幕府方として戦い抜いた戊辰戦争、明治の新たな時代の松ヶ岡開墾事業を紹介。版籍奉還後の酒井家の歴史にも焦点を当て、歴史資料や写真資料などから時代の転換期に迫る。

第43回 鶴岡書道会会員展

2023年1月5日(土)～1月22日(日)

新収蔵品展

～刀剣・美術工芸品を中心に～

2023年1月26日(土)～3月12日(日)

鶴岡出身の愛刀家・三矢宮松(1880-1959)旧蔵の脇指・短刀や、幕末に活躍した旧庄内藩士・石川静正(1848-1925)の遺品や、書画を中心に出品。脇指額銘「恒光」拵付、日下部鳴鶴筆七言対句、石川淡雲・淡水合作山水図屏風他。

第29回 鶴岡雛物語

2023年3月1日(水)～4月3日(月)

市内各所で開催され、鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雛物語」展。当館では、旧庄内藩主酒井家や旧家伝来の雛人形と雛道具、鶴岡伝統のお雛菓子を一室に展示。大名家ならではの、典雅な雛祭り。

花鳥風月

2023年3月15日(水)～4月26日(水)

時に美しく、時に厳しく、四季折々の表情をみせる日本の風土。移りゆく自然美は、今も昔も画家たちを魅了する。本展では「花鳥風月」をキーワードに、館所蔵の花鳥画、風景画を中心に紹介する。

第15回「砂の会」作品展 11月3日(木)～6日(日)
第18回 東洋蘭展 2023年3月17日(金)～19日(日)
※日程が変更となる場合もございます。ご了承ください
★合同茶会(表千家、裏千家、遼州流、大日本茶道学会)は、お休みします

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 金	1 日	1 水	1 金	1 月	1 木
2 土	2 月	2 木	2 土	2 火	2 金
3 日	3 火	3 金	3 日	3 水	3 土
4 月	4 水	4 土	4 月	4 木	4 日
5 火	5 木	5 日	5 火	5 金	5 月
6 水	6 金	6 月	6 水	6 土	6 火
7 木	7 土	7 火	7 木	7 日	7 水
8 金	8 日	8 水	8 金	8 月	8 木
9 土	9 月	9 木	9 土	9 火	9 金
10 日	10 火	10 金	10 日	10 水	10 土
11 月	11 水	11 土	11 月	11 木	11 日
12 火	12 木	12 日	12 火	12 金	12 月
13 水	13 金	13 月	13 水	13 土	13 火
14 木	14 土	14 火	14 木	14 日	14 水
15 金	15 日	15 水	15 金	15 月	15 木
16 土	16 月	16 木	16 土	16 火	16 金
17 日	17 火	17 金	17 日	17 水	17 土
18 月	18 水	18 土	18 月	18 木	18 日
19 火	19 木	19 日	19 火	19 金	19 月
20 水	20 金	20 月	20 水	20 土	20 火
21 木	21 土	21 火	21 木	21 日	21 水
22 金	22 日	22 水	22 金	22 月	22 木
23 土	23 月	23 木	23 土	23 火	23 金
24 日	24 火	24 金	24 日	24 水	24 土
25 月	25 水	25 土	25 月	25 木	25 日
26 火	26 木	26 日	26 火	26 金	26 月
27 水	27 金	27 月	27 水	27 土	27 火
28 木	28 土	28 火	28 木	28 日	28 水
29 金	29 日	29 水	29 金	29 月	29 木
30 土	30 月	30 木	30 土	30 火	30 金
31 日	31 火	31 金	31 日	31 水	31 土

致道博物館【2022】令和4年度 展覧会スケジュール

10月	11月	12月	2023/1月	2月	3月
1 土	1 火	1 木	1 日	1 水	1 土
2 日	2 水	2 金	2 月	2 木	2 日
3 月	3 木	3 土	3 火	3 金	3 月
4 火	4 金	4 日	4 水	4 土	4 火
5 水	5 土	5 月	5 木	5 日	5 水
6 木	6 日	6 火	6 金	6 月	6 木
7 金	7 月	7 水	7 土	7 火	7 金
8 土	8 火	8 木	8 日	8 水	8 土
9 日	9 水	9 金	9 月	9 木	9 日
10 月	10 木	10 土	10 火	10 金	10 月
11 火	11 金	11 日	11 水	11 土	11 火
12 水	12 土	12 月	12 木	12 日	12 水
13 木	13 日	13 火	13 金	13 月	13 木
14 金	14 月	14 水	14 土	14 火	14 金
15 土	15 火	15 木	15 日	15 水	15 土
16 日	16 水	16 金	16 月	16 木	16 日
17 月	17 木	17 土	17 火	17 金	17 月
18 火	18 金	18 日	18 水	18 土	18 火
19 水	19 土	19 月	19 木	19 日	19 水
20 木	20 日	20 火	20 金	20 月	20 木
21 金	21 月	21 水	21 土	21 火	21 金
22 土	22 火	22 木	22 日	22 水	22 土
23 日	23 水	23 金	23 月	23 木	23 日
24 月	24 木	24 土	24 火	24 金	24 月
25 火	25 金	25 日	25 水	25 土	25 火
26 水	26 土	26 月	26 木	26 日	26 水
27 木	27 日	27 火	27 金	27 月	27 木
28 金	28 月	28 水	28 土	28 火	28 金
29 土	29 火	29 木	29 日	29 水	29 土
30 日	30 水	30 金	30 月	30 木	30 日
31 月	31 木	31 土	31 火	31 金	31 月

山形県庄内地方の歴史と文化財が集約!!

見どころがいっぱいあります。お楽しみください!

- 山形県指定文化財 山村豪雪地帯の多層民家
- 国指定重要文化財 明治期創建の警察署
- 国指定重要文化財 明治天皇行幸の都役所
- 山形県指定有形文化財 藩主の隠居所、明治以後の酒井伯爵邸
- 国指定重要文化財 東北稀有の書院庭園
- 日本遺産に認定された建造物や資料群も充実しています
- 庄内地方の生活用具
- 民具と職人の道具
- 企画展は美術展覧会場で

公益財団法人致道博物館 交通案内

- JR鶴岡駅よりバス10分「致道博物館前」下車徒歩2分
- 山形自動車道鶴岡I.C.より車で5分
- 庄内空港より車で20分

2022年度 致道博物館 展覧会のご案内

国指定名勝 酒井氏庭園

重要文化財 旧酒井家住宅

重要文化財 旧庄内藩主御隠殿

重要文化財 旧鶴岡警察署庁舎

重要文化財 旧西田川郡役所

重要有形民俗文化財収蔵庫

民具の蔵

美術展覧会場

赤門

旧酒井家江戸屋敷

受付ミュージアムショップ

今でも江戸時代・城下町の趣が漂う町、山形県鶴岡市。致道博物館は、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家が、郷土文化の向上のために土地建物や伝来品を寄付し、昭和25年に創設されました。移築した3棟の重要文化財建造物、国指定名勝庭園を保存公開しているほか、考古・歴史・民俗・美術工芸などの多分野にわたる資料や酒井家伝来の文化財を豊富に展示し、庄内の歴史と文化を広く紹介しております。

ご観覧のご案内

開館時間/休館日
3月～11月 9:00～17:00(受付終了16:30)/無休
12月～2月 9:00～16:30(受付終了16:00)
/水曜日、年末年始休館

	個人	団体(20名以上)
一般	800円	700円
高大生	400円	300円
小中生	300円	200円

100名以上に特別割引もございます。事前にご予約ください。
※この料金で企画展のほか常設展示6棟および庭園を観覧いただけます

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 (鶴岡公園西隣)
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

令和4年3月1日発行 ※掲載情報は、変更となる場合もございます。最新情報は、ホームページ・Twitter等でお知らせしています。

致道博物館 CHIDO MUSEUM

館名の「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由縁し、典拠は「論語」で「君子学んで以て其の道を致す」です。